

平成29年度 第1回成田市空き缶等及び吸い殻等散乱防止審議会 概要

1. 日時

平成29年11月6日（月）

午前10時から午前10時45分まで

2. 開催場所

成田市役所 6階 中会議室

3. 出席者

（審議員）：宮田委員・比田井委員・小倉委員・宮崎委員・岩野委員・保延委員

（事務局）：石井環境部長・黒田課長・八代主幹・青野主査・大橋主任主事・宍倉主事

4. 欠席者

（審議員）：小川委員

5. 議題

（1）会長の選出

（2）副会長の選出

（3）成田市の美化運動への取り組みについて

（4）美化推進重点地区の指定について

（5）その他

6. 会議の概要

（1）会長の選出

全会一致にて、成田市観光協会の代表として選出された宮田委員を会長とすることに決定。

（2）副会長の選出

全会一致にて、成田市交通安全協会の代表として選出された比田井委員を副会長とすることに決定。

（3）成田市の美化運動への取り組みについて

成田市では美化運動について、大きく3つの取り組みを行っている。

1つ目は環境美化運動で、5月・8月・12月に基準日を設け、市内の自治会や団体などの協力を得て、散乱ごみの収集を行うもの。昨年度は577団体・60,171人が参加した。

2つ目は駅前清掃美化事業で、京成成田駅周辺の清掃活動をシルバー人材センターに委託しているもの。

3つ目は駅前クリーン運動で、毎月21日に成田市観光協会、成田商工会議所、各事業所、市職員を中心として駅周辺の清掃活動を行うもの。昨年度は1,467人が参加した。

全ての取り組みについて、今後も継続していきたいと考えている。
(質疑なし。)

(4) 美化推進重点地区の指定について

美化推進重点地区は、ポイ捨て禁止条例が施行された年の翌年、平成10年12月15日に指定され、この重点地区に基づいて駅前クリーン運動などに取り組んでいる。

美化推進重点地区(案)については、新しく公津の杜駅周辺を、今後、美化推進重点地区として検討している。

公津の杜駅周辺は、マンション・分譲地等が立ち並び、国際医療福祉大学医学部が開学され、公津商店会の利用者や国際医療福祉大学の学生など常日頃から、人手の多い地域になり、イベントも駅前ロータリーなどを利用して開催されている。

公津地区には、公津商店会の組織もあり、今後、環境美化に向けての取り組みについて地域と話し合いを持っていけたらと考えている。

(質疑)

- ・公津の杜駅前を美化推進重点地区として、指定することは決定しているのか。
→まだ決定していない。案として説明をした。重点地区の範囲についても、今後の話し合いで検討していきたいと考えている。
- ・商店会との話し合いは、始まっているのか。
→話し合いは、始まっていない。商店会の方々に年1回美化運動を行っている。今後話し合いを設けていけたらと考えている。
- ・重点地区としているが、なぜ重点地区とするのか、ごみが落ちて汚れているのか。
→ごみが落ちて汚い訳ではない。きれいなほうだと思う。大学も開学され、マンションなども増え、利用する人が増えることが予想されるので、今後力を入れていきたい地域である。
- ・JR成田駅周辺に喫煙所はあるのか。
→現在西口には、喫煙所があるが、東口(駅前)にはない。

(5) その他

昨年度の視察先、横浜市の取り組みを報告。

厚生労働省の受動喫煙防止対策の法案の早期国会提出に向けて、検討が進められている。

この法案が成立し、「美化推進重点地区」であるJR成田駅前などに喫煙所が設置された場合、ポイ捨てが増えないように対策が必要ではないかと考えられる。

(質疑なし)

(約45分)

7. 傍聴者

なし